

「いちおし」の本 図書館に

大学図書館に置きたい本を選ぶ
松山東雲女子大生



松山東雲女子大生 書店で選ぶ

松山東雲女子大の学生が大学図書館に置きたい本を書店で選ぶ「ブックハンティング」が27日、松山市一番町3丁目のジュンク堂書店松山三越店であり、人文科学部心理子ども学科の学生7人が店内を巡って学びにつながる本を探した。

同大は、多くの学生が読みたくなるような本をそろえようと2014年度からブックハンティングを実施。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となった。

学生は「これ読んでことある？」などと話しながら、保育実習で

使える児童書や就職活動に役立つ本などを手に取っていた。約20冊を選んだ3年の菅華守（みんずま）さんは「自分の興味のある本が図書館で読めたり、みんなに読まれたりするのほうれしい」と話した。

松山東雲女子大・短期大図書館の続木正博

事務長補佐は「研究の根拠になる文献などを探す力を養ってほしい」と期待していた。

学生が選んだ中から図書館蔵書にない本を購入し、後日館内に展示。図書館は16歳以上に一般開放している。

（薬師神亮太）